

令和7年(2025年)10月17日

保護者の皆様

札幌市立あいの里西小学校

校長 渡辺 一生

令和7年度 全国学力・学習状況調査の本校の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃よりあいの里西小学校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年、4月17日(木)に全国の小学6年生と中学3年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が行われました。「教科に関する調査結果」と「児童生徒質問紙調査結果」について、本校6年生の状況をお知らせいたします。

今回の結果を分析・検証し、今後の学習・生活指導に生かしてまいります。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに十分ご留意ください。保護者の皆様におかれましても、お子さんのこれからの学習や生活の充実のための参考にしていただきたくお願い申し上げます。

(◇全国平均と同程度 △全国平均を上回る ▼全国平均を下回る)

国 語

本校の概要	今回の調査結果及び課題	改善の方向
【話すこと・聞くこと】 全国平均とほぼ同程度のものもあるが、下回っているものもある。	◇話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ▼目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する。	□話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめたりする。 □知りたいことについて、自分が知っていることや予想したこと、疑問に感じていることなどを聞く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関連を明確にしたりする。
【書くこと】 全国平均を上回っているものもあるが、下回っているものもある。	△図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ▼目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	□文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にする。友達と話し合い、読み手の立場から「どこを詳しくすれば目的や意図に応じた文章になるのか」という場面を設定する。 □「詳しく書いた方がよい」と分かっている場合でも、「どのように書き表すと詳しくなるか」が分からない場合には、詳しくする方法をいくつか知ることができるように友達同士で書いた文章を見せ合い、詳しくする方法を話し合う。
【読むこと】 全国平均を上回っているものもあるが、下回っているものもある。	△目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。 ▼事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。	□複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読む。その際、それぞれの資料にある、語句や情報を丸や四角で囲んだり線などでつないだりするなどして、どの部分と結びつくのか視覚的に明らかにしながら読む指導をする。 □書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているのかを書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなどして、内容の中心となる事柄などを捉える。
【言葉の特徴や使い方に関する事項】 全国平均とほぼ同程度のものもあるが、下回っているものもある。	◇情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。 ▼学年別漢字配当表に示されている漢字を分の中で正しく使うことができる。	□複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりするなど、図示することで情報を整理する。図示により語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることができることを理解し、様々な学習活動において活用できるようにする。

算 数

本校の概要	今回の調査結果及び課題	改善の方向
【数と計算】 全国平均と同程度のもの、上回るもの、下回るものがある	◇分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する。 △示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する。 ▼異分母の分数の加法の計算をする。	□分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見いだすことで既習の整数の加法に帰着することができるようにする。 □示された資料から必要な情報を選び、数量関係を捉え、式に表すことができるようにする。 □異分母の分数の加法の計算の仕方を考える活動の際、同分母の分数の加法や減法の計算はどのように考えたのかを振り返り、単位分数の幾つ分という分数の意味を理解した上で加法や減法ができることを確認する場を設定する。
【図形】 全国平均と同程度のもの、上回っているもの、下回っているものがある。	◇台形の意味や性質について理解する。 △基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式の言葉を用いて記述する。 ▼角の大きさについて理解する。	□台形を弁別する際、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目しながら、図形の性質を基に弁別した理由を説明することで、置き方をいろいろと変えても図形の性質は変わらないことを理解することができるようにする。 □図形を分割する際、どのような図形に分割したのかを明らかにして、分割した図形の面積を求めるために必要な辺の長さなどを捉え、その図形の面積を求めることができるようにする。 □角をつくる二つの辺をそれぞれ伸ばして、伸ばす前の角の大きさと伸ばした後の角の大きさを比べる活動を設定する。その際に二つの辺の大きさによって角の大きさは変わらないことを理解できるようにする。
【変化と関係】 全国平均と同程度のものと、上回っているものがある。	◇伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量見いだす。 △伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する。	□ある一つの数量を調べようとするとき、その数量を直接調べにくい場合は、その数量と関係のある他の数量を使って調べられないかと考えて事象を観察し、伴って変わる二つの数量に着目し、必要な数量を見いだすことができるようにする。 □複数の情報から場面に基づいて必要な数量を見だし、それらの関係を数学的に表現できるようにする。
【データの活用】 全国平均と同程度のものと、上回っているものがある。	◇目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。 △簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ。	□データの中の数量の大きさの違いを一目で捉えることができるという棒グラフの特徴や複数のデータについて項目の割合を比較することができるという帯グラフの特徴を理解できるようにする。 □表のどの部分に着目するのかを考えて、結論の根拠となる数値を読み取ることができるようにする。

理 科

本校の概要	今回の調査結果及び課題	改善の方向
【エネルギーを柱とする領域】 全国平均と同程度のもの、上回っているもの、下回っているものがある。	◇乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身についている。 △電気がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身についている。 ▼身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身についている。	□学習した知識を身の回りで見られる事物・現象と関連付けたり様々な内容で習得した知識を整理したりして、物質の性質に関する理解を深める。 □既習の内容から目標を設定し、その目標を達成するためにものづくりを行っていく過程で、条件を制御しながらデータを計測しつつ修正する活動の充実を図る。そして、ものづくりの活動を振り返り、既習の内容を生かしながらもものづくりができたことを自覚できるようにする。 □ものづくりでできた装置を言葉や図に表現したり、言葉や図から装置を再構成したりするなどして、学習を通して得た知識の理解を深める。
【粒子を柱とする領域】 全国平均と同程度のものと、下回っているものもある。	◇水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。 ▼水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する。 ▼「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現する。	□加熱しなくても水が蒸発する場面を生活の中から探したり、低い温度で水が蒸発する場面と沸騰で蒸発する場面との差異や共通点を整理したりすることを通して水の状態変化について概念的に理解できるようにする。 □科学的に問題を解決するためには、計画した実験方法が予想したことを確かめられるものになっているかを検討して、改善する。 □学習のまとめの際に、学習したことを自然の事物・現象や生活の場面に当てはめて理解を深めたり、役立っていることを捉えたりする活動を設定し、学習したことと自然の事物・現象との共通点を分類・整理したり、自然の事物・現象と習得した知識を関連付けて説明したりする。
【生命を柱とする領域】 全国平均と同程度のもの、上回っているもの、下回っているものがある。	◇発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現する。 △顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身についている。 ▼ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身についている。	□自然の事物・事象に影響を与えようと考えられる要因を予想し、その要因を変える条件と変えない条件に区別しながら、予想や仮説を基に解決するための実験の方法を計画する。 □顕微鏡を操作する場面において、操作方法や手順をただ覚えるだけでなく、状態によってどのように操作すれば必要な像が得られるのかなど、様々な状態を想定して実際に操作する学習活動を行う。 □科学的な言葉を使って説明する場面を設定する。花のつくりを観察するときに、図鑑などと照らし合わせておしべやめしべの部位と名称を説明する学習活動、さらに、複数の種類の花を観察し、その共通点としておしべとめしべを見付ける学習活動を行う。
【地球を柱とする領域】 全国平均と同程度のものと、下回っているものもある。	◇赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現する。 ▼赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現する。	□条件を制御した実験の方法を発想し、表現するためには、変える条件や変えない条件に着目し、整理しながら実験を計画する。 □結果を基に考察する際に、表やグラフなどに整理する活動を設けることで、結果を比較したり、複数の結果から多面的に考えたりして、自分の考えを表現できるようにする。

【児童質問調査結果について(本校/全国平均)…一部抜粋しています】

☐ 毎日、同じくらいの時刻に起床、就寝している。

〈当てはまる・どちらかといえば、当てはまる〉(86.8/86.4)

〈当てはまらない〉(3.5/2.2)

☐ 自分にはよいところがあると思う

〈当てはまる・どちらかといえば当てはまる〉(86/86.9)

〈当てはまらない〉(8.8/3.9)

☐ 将来の夢や目標を持っている

〈当てはまる・どちらかといえば当てはまる〉(85.9/83.1)

〈当てはまらない〉(7.0/6.6)

☐ 人の役に立つ人間になりたいと思う

〈当てはまる・どちらかといえば当てはまる〉(98.2/96)

〈当てはまらない〉(1.8/1.0)

☐ 自分と違う意見について考えるのは楽しい

〈当てはまる・どちらかといえば当てはまる〉(61.4/78.1)

〈当てはまらない〉(8.8/4.7)

☐ 友人関係に満足している

〈当てはまる・どちらかといえば当てはまる〉(80.7/91.7)

〈当てはまらない〉(1.8/2.0)

☐ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

〈1時間以上～3時間未満〉(40.4/41.9)

〈30分より少ない・全くしない〉(29.8/18.6)

☐ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

〈30分以上2時間未満〉(22.8/24.7)

〈全くしない〉(35.1/29.2)

☐ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。

〈当てはまる・どちらかといえば当てはまる〉(75.4/79.4)

〈当てはまらない〉(8.8/3.3)

☐ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

〈当てはまる・どちらかといえば当てはまる〉(93/83.3)

〈当てはまらない〉(1.8/3.3)